

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	高速道路既存ストック有効活用に関する検討経費	担当部局庁	道路局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	H24/H25	担当課室	高速道路課	課長 縄田 正				
会計区分	一般会計	施策名	8-29 道路交通の円滑化を推進する					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	高速道路のあり方検討有識者委員会(座長:寺島実郎)の「中間とりまとめ」(H23.12.9)を踏まえて、料金制度を通じた高速道路既存ストックの有効活用について検討を行う。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	高速道路の既存ストックを有効に活用する観点から、本施策は、今後の新たな高速道路料金等(交通量、旅行速度、渋滞量、観光等)について、データ整理・分析を行うものである。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	145		
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
		計	-	-	-	145	0	
		執行額	-	-	-			
	執行率(%)	-	-	-				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	将来の高速道路制度について検討を行うことを 目的とする		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	今後の新たな高速道路料金等(交通量、旅行速 度、渋滞量、観光等)について、データ整理・分 析を実施		活動実績 (当初見込 み)		-	-	-	-
							(-)	
単位当たり コスト	-		算出根拠					
平成 24 ・ 25 年 度 予 算 内 訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	道路交通円滑化推進費	145		-				
	計	145	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	道路交通の円滑化を担う事業として実施。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>料金制度や料金施策は、高速道路のみならず、一般道路を含めた道路ネットワーク全体の交通の最適配分、物流や観光の支援など広く国民にその効果が及ぶものであり、国において整理・分析を行う必要がある。 また、現在の高速道路の料金割引の多くが、H25年度までで終了するため、整理・分析を急ぐ必要があり、事業の優先度は高い。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新24-2029